

## 病床削減が地域医療構想の実現に資するものであることの説明資料

病院等の名称	マサキ外科肛門科
見直しを行った機能	急性期
H30許可病床数からの削減数	11床削減
変更予定年月日	令和3年1月または2月

1 地域の状況		
地域の現状と課題	岩国医療圏では平成30年現在急性期病床が626床あり、2025年での必要病床数419床に比し207床過剰状態にあり、急性期病床の減床が望まれている。また、医療機関ごとの機能を明確化し、医療機関が担う医療機能の集約化が必要である。	
2 自施設の状況		
自施設の現状 (変更前)	現在当院の入院患者の相当数が肛門疾患の手術症例である。当医療圏の急性期病院である国立岩国医療センターでは肛門疾患専門医が不在のことも多く、岩国医療圏では最も多くの肛門疾患手術を実施していると思われる。	
病床数の見直し	見直しの考え方	現在の急性期病床19床を8床に減床。今後医療圏人口が減少し、入院手術患者数の減少も見込まれる。
	対象の病棟・病床の概要	急性期病床(有床診療所入院基本料2)
	入院患者への対応	肛門疾患患者以外の、例えば整形外科的疾患の患者さんは整形外科医院などの他医療機関におまかせしたい。
3 病床削減が地域医療構想の実現に資するものである理由		
理由	岩国医療圏の急性期病院である国立岩国医療センターでは肛門疾患専門医が不在のことが多く、当院も適正規模で病床を維持し、役割分担・相互連携による医療体制の整備、急性期病院の勤務医の負担軽減に貢献したいと考える。肛門疾患以外の入院治療が必要な、例えば整形外科的な症例は他医療機関に紹介し、役割分担・地域医療連携を推進する。	

## 【参考：H30病床機能報告(岩国保健医療圏の状況)】

病床区分		高度急性期	急性期	回復期	慢性期	休棟・ 廃止予定	介護保険施設 移行予定	合計
報告	①H30(2018)現状	264	626	216	772	9	-	1,887
	②R7(2025)予定	264	577	216	712	49	69	1,887
構想	③R7(2025)必要数	131	419	446	505	-	-	1,501
④構想との差(H30)(①-③)		133	207	△ 230	267	-	-	377
⑤構想との差(R7)(②-③)		133	158	△ 230	207	-	-	268